学校番号	413

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、１年次で学んだことをもとに、表現力や表現技術をさらにのばし、表現活動の喜びを感じとってほしいと考えます。また他者の作品を鑑賞することにより、良いところを自分の作品に取り入れてください。
・２年生でも描写力を養うために、毎時間１０分から１５分程度の静物クロッキーを行います。３Ｂくらいの鉛筆を毎時間、必ず用意してください。
・主に教材で購入したアクリル絵の具を使って平面作品を中心に制作します。アクリル絵の具の特性を知るとともに、混色の技術や筆の使い方、配色の工夫等を学びます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】　描写力や彩色方法のさらなる技法を学ぶ。
【思考力、判断力、表現力等】　表現方法を工夫することで、自らの作品に自信を持ち、自分の思いや考えを作品表現できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】　美術を愛好する心情を育て、心豊かな生活や社会に生かす態度を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・創造的な作品を制作するための基本となるデッサン力や彩色技術等の知識・技能・技術を基礎に、造形的で個性的な作品を表現する。	・感じたことや考えたことをもとに自分なりの主題に基づいて、創造的な表現を練ることができる。また美術の歴史や文化についての理解を深める。	・美術の創造活動の喜びを味わい、多種多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	鉛筆クロッキー	・鉛筆を使ったクロッキー （身近な静物等）	a:造形的な要素を理解し、描写力や表現力を身につけている。 b:表現形式の特性を生かし、形体の要素について考え、表現の構想を練っている。 c:主体的に作品に取り組んでいる。	描写力 立体感	描線の工夫 明暗のつけ方の工夫	作品に取り組む姿勢
	有名人を描く	・アクリル絵の具を使った「点描技法」による人物表現	a: 絵画的な造形的要素の働きを理解し、点描技法を生かした表現を工夫している。 b:主題や条件、美しさを考え、構想を練り、主題を生成している。 c: 主体的に人物表現の創造活動に取り組んでいる。	描写力 彩色技術 混色技術	アイデアスケッチ 色彩計画 点描技法	作品に取り組む姿勢
二学期	ステンドグラス	オリジナルデザインのステンドグラスの制作	a:ステンドグラスの要素を理解し、全体のイメージや作風、技法を理解している。 b: 表現形式の特性を感じ、形体の画面構成などについて考えを深めている。 c: 主体的に絵画の表現活動に取り組んでいる。	構想力 デザイン力 配色の工夫	オリジナルデザインの工夫 素材のカットの工夫 色彩計画	作品に取り組む姿勢
三学期	CDケースのデザイン	好きなアーテイストのCD ケースのカバーをデザインする。	a:パソコン等を活用し、表現方法を工夫し、インパクトがあり個性的な表現を行っている b:アーテイストの楽曲のイメージを醸し出す表現を工夫している。 c: 主体的にデザインの表現活動に取り組んでいる。	描写力 画面構成力 イメージの表現	アイデアスケッチ 鑑賞レポート	作品に取り組む姿勢

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度